



立西巻き

尼崎市立立花西小学校
2026. 3. 25 (水)
No.61
(令和7年度最終号)

[校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより)]

令和8年度も続けます。

4月の始業式で伝えた子ども達へのメッセージ「自創協創」。学校で、なりたい自分を創っていくのです。君がなりたい自分を創るため、仲間と先生達と一緒に協えていきましょうということでした。今日の修了式では、子ども達に聞いてみようと思います。なりたい自分に近づきましたか。

「今日」を大切にしてきましたか。「仲間」を大切にしてきましたか。

「自分」を大切にしてきましたか。

令和7年度が今日で終わります。保護者・地域の皆様のご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。大切なお子様の一年をお預かりしました。100点とは言い切れない私達立花西小学校教職員ではあったかもしれませんが、全教職員、全力で子ども達と向き合ってきたことは、間違いありません。お子様の担当をした教職員は入れ替わりますが、今後も受け持った子どもをこれからも我が子同様、見守り続けていきます。一年間、本当にありがとうございました。令和8年度も、引き続き全力で頑張っていきます。また、今日は、一年間がんばったお子様をたくさんほめてあげてくださいますよう合わせて、よろしく願いいたします。



これからも おいしい おいしい 立西巻きを つくります

立西巻きも、61号をもって最終となりました。4月。私が校長として、積極的に行うこととしてお約束したことは3つありました。①「立西巻き」を書く。② ホームページの更新と掲示をする。③「校長先生より」を書き、子ども達へ毎日、メッセージを伝える。ただただ、「愛あふれる学校にしたい」「すてきな学校をつくりたい」という思いから、自分ができることは何かを考え、この3つとしたのです。正直に言うと、続けるというのは、なかなか根性があることで、大変ではないと言うと、そうではありません。それでも、続けてきたのは、子ども達や先生達、学校の頑張りを多くの方に伝えたい、知ってもらいたいという思いが強かったからです。第一号でお伝えしましたが、校長だから書ける、校長しか書けないことがあると信じているからです。残念ながら、プロではありませんので、うまく表現できていないこともあったかと思えます。同じ文章でも、読み手の状況や立場により、すっと心に入った時もあれば、ひっかかりを覚えた時もあったと思えます。全ての保護者の皆さんが、同じ考えではないこともありますので、受け取り方が違うこともあったかと思えます。立花西小学校に関わってくださる皆さんが、一緒になって、子ども達や教職員のがんばり、学校の姿を少しだけ知るよい機会となればと願ってのことです。

「立西巻き、楽しみにしていますよ。」「子ども達、よくがんばっていますね。」「先生達も大変だなあ。」とお声掛けくださる度、もっともっと伝えたい素敵なこと、あんなことこんなことがあるんですと思い、あたたかいお声かけに感謝した次第です。つたない文章を

読んでくださり、本当にありがとうございました。令和8年度も続けていきます。



たちぴー



たちばにー



たばにー



たちばなお

たばにーフレンズ